

**公表 事業所における自己評価総括表**

○事業所名	YMCAひかりの子		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 7日 ~ 2025年 9月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 28	(回答者数) 18	
○従業者評価実施期間	2025年 9月 7日 ~ 2025年 9月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11	(回答者数) 8	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童クラブとの関わりが豊富	学校からの送迎や近隣公園での遊び、事業所における行き来など併設する児童クラブとの関わりが常にあります	療育中における児童クラブと交流できる時間をより多く設けたい
2	地域交流の機会が多い 様々な世代の人々と関わる機会が多い	こども達が企画・提案・運営までの一環した経験体験のバザーや市内のお祭り出店、大きい公園を日借りしたマラソン大会などの開催と提供。 学生のインターンシップの受け入れを通して青少年健全育成も行っているので老若男女問わない世代の関わりが持つことができる	様々な人々と地域交流の機会が持てる企画・運営の提供
3	土曜開所と最大2泊3日のキャンプ 系列の事業所との交流がある	年に3回のお出かけプログラムの土曜開所と最大2泊3日のキャンプ	普段から交流のある他事業所へのお誘いや受給者証のあるかたのスポット利用を促進する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	STTプログラムの時間を確保しているものの、定着するに難しさがある。また、視覚的支援やその子にあつた声掛けが適切なのか、共通認識が不足している可能性がある。	全日利用と曜日固定の利用者さんの差が多く満遍なくフラットに支援が提供できおらず偏りがある	SSTの目的や進め方を職員間で再確認し、小集団・日常場面に取り入れるなど、実施できる形に見直していく。 一人ひとりに有効な視覚的支援(スケジュール、絵カード等)を整理し、共通して使えるようにする。
2	事業所が階段を使用した2階にある	建物の構造上、事業所を1階にすることや可動式エスカレーターやエレベーターの設置は難しい	劣化の激しい出入口玄関のスロープは新しいものと交換し設置した。
3	ココロ落ち着けるスペースの設置が難しい	カームダウンスペースはあるが、ゆっくり静かに過ごせるスペースの設置が難しい。勉強部屋・運動スペースは確保できているが静かに過ごせるスペースの確保の環境整備を行いたい	部屋の間取りを工夫し区画整理したい